

EVEFA

クライアント展開 手順書

msi 実行編
第1.1版

機能もサービスも、オーダーメイド感覚。

IT 統合管理ソフトウェア

AssetView®

アセットビュー

ITの管理スタイルの数だけ、\変幻自在!



1. はじめに	3
2. 流れ	4
3. 事前準備	5
4. ドライバーとインストーラーの配布	10
管理コンソールからの配布	14
5. ドライバーの導入	15
管理コンソールからの配布	19
6. クライアントの導入	20
管理コンソールからの配布	32
7. 確認方法	33
補足資料（無効化手順）	35

本書は、AssetViewを利用しEVE FAクライアントモジュールをご利用中の各端末に展開することを目的としたものです。

また、本書「msi実行編」ではサイレントインストールをメインに手順として記しております。

本書で記載している内容は、以下の製品を対象としています。

製品名

EVE FA	Ver.5.60.00.30203
AssetView	Ver.9.2.3

クライアント展開に関する、事前準備から確認方法までの流れを以下に記します。

1.1. 事前準備

- ・ご利用になりたい認証デバイスのドライバー準備
- ・install.ini ファイルの編集
- ・クライアントに導入したいFAインストーラー(exeファイル)の準備
- ・上記、exeファイルより msiファイル の生成
- ・AssetView 配布タスク作成時に使用するZIPライブラリの設定変更

1.2. 認証デバイスのドライバーとクライアントインストーラーの配布

- ・AssetView を利用した配布タスクの作成
- ・管理コンソールから配布する場合

1.3. 認証デバイスドライバーのインストール実施

- ・AssetView を利用した配布タスクの作成
- ・管理コンソールから配布する場合

1.4. クライアントインストーラーのインストール実施

- ・AssetView を利用した配布タスクの作成(EVE FA、EVE IDM、EVE RDP)
- ・管理コンソールから配布する場合

1.5. 確認方法

- ・インストールの実施後の確認方法

3. 事前準備

各端末に配布したいファイルの準備手順を以下に記します。

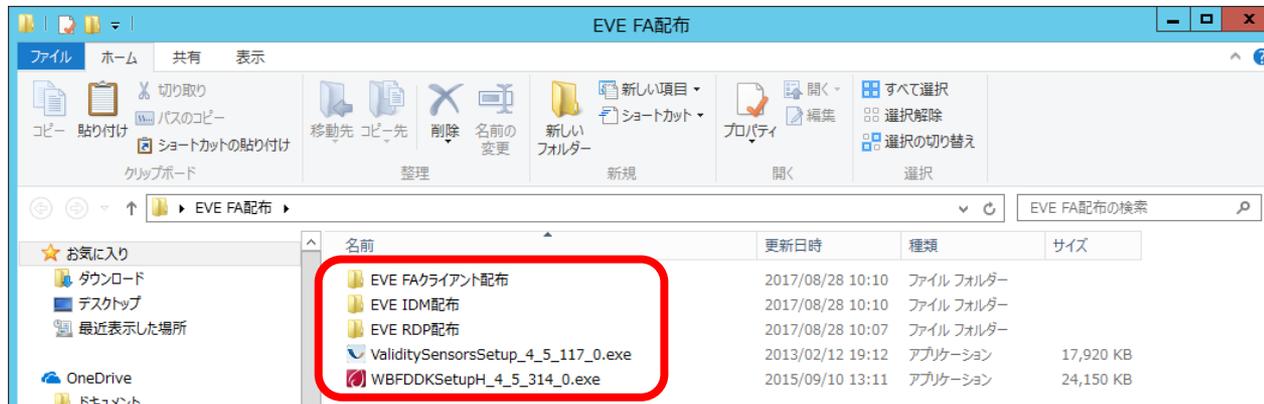


手順①：任意の場所にフォルダーを作成します。
例ではデスクトップ上にフォルダを作成
「フォルダ名：EVE FA配布」

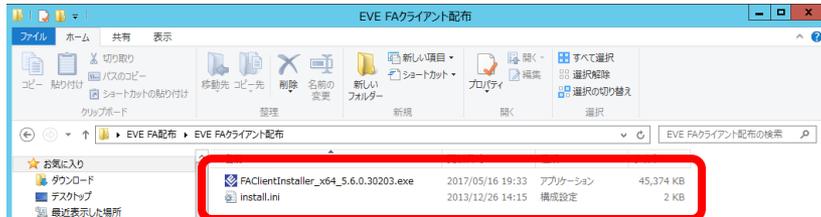
手順②：ご利用になりたい認証デバイスのドライバーファイルを配置します。
例では指紋認証デバイスのドライバーを配置
「ファイル名：ValiditySensorsSetup_4_5_117_0.exe」
「ファイル名：WBFDDKSetupH_4_5_314_0.exe」

手順③：クライアントに導入したいFAインストーラーのフォルダーを作成します。
例では以下の3フォルダーを作成
「フォルダー名：EVE FAクライアント配布」
「フォルダー名：EVE IDM配布」
「フォルダー名：EVE RDP配布」

※上記のフォルダー名は任意です。導入不要なものはフォルダー作成不要です。



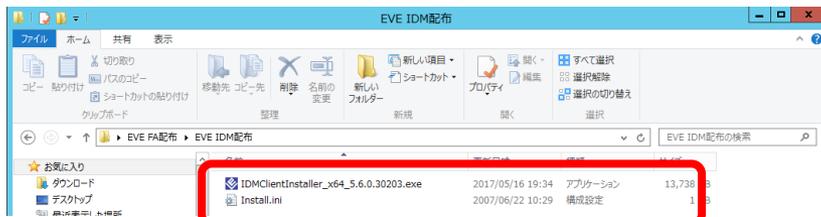
3. 事前準備



手順④：「EVE FAクライアント」フォルダーに以下のファイルをコピーします。

「ファイル名：FAClientInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」
「ファイル名：install.ini」

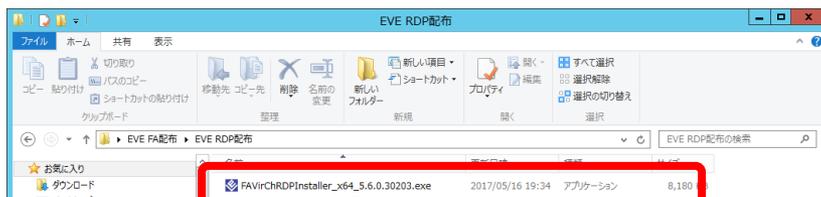
- ※ 「install.ini」ファイルはご利用の環境に合わせて事前に編集ください。
- ※ EVE FAサーバーにて通信キー(sKey.dat / cKey.dat)を設定している場合は、本フォルダにcKey.datをコピーします。



手順⑤：「EVE IDM配布」フォルダーに以下のファイルをコピーします。

「ファイル名：IDMClientInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」
「ファイル名：install.ini」

- ※ 「install.ini」ファイルはご利用の環境に合わせて事前に編集ください。
- ※ EVE FAサーバーにて通信キー(sKey.dat / cKey.dat)を設定している場合は、本フォルダにcKey.datをコピーします。

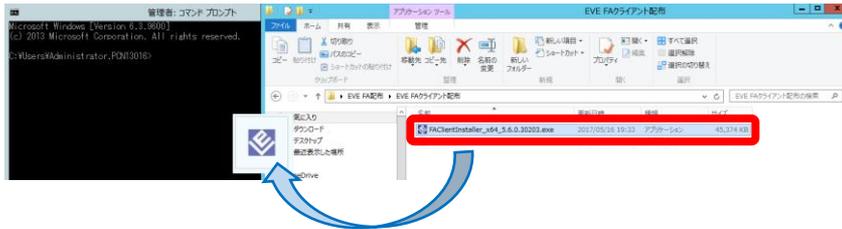


手順⑥：「EVE RDP配布」フォルダーに以下のファイルをコピーします。

「ファイル名：FAVirChRDPInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」

- ※ 「install.ini」ファイルはありません。

3. 事前準備

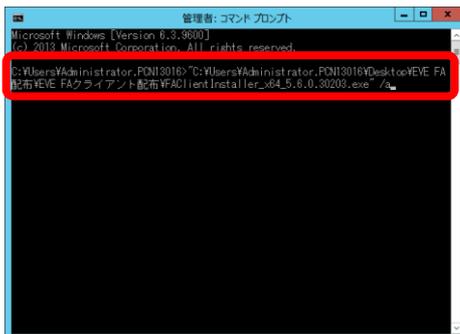


手順⑦：コマンドプロンプトを起動し、「ファイル名：FAClientInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」をコマンドプロンプトにドラッグアンドドロップします。

★注意：「ファイル名：IDMClientInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」「ファイル名：FAVirChRDPInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」も同様の操作をしてください。



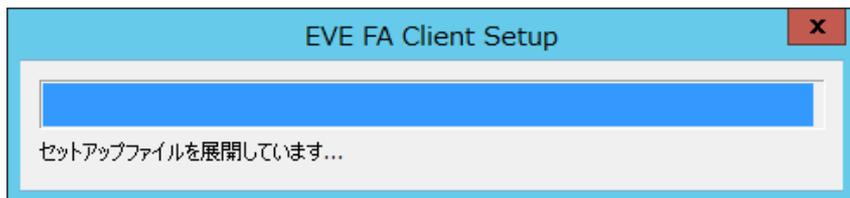
手順⑧：コマンドプロンプトにフルパスで入力されたことを確認します。



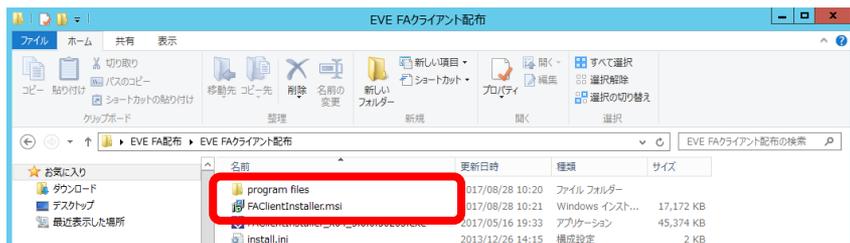
手順⑨：カーソルの後ろに、半角スペースと /a を入力し「Enter」キーを押下します。

★注意：「ファイル名：IDMClientInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」「ファイル名：FAVirChRDPInstaller_x64_5.6.0.30203.exe」も同様の操作をしてください。

3. 事前準備



手順⑩ : セットアップファイルの展開が開始されます。



手順⑪ : FAClientInstaler.msi ファイルが生成されます。

同様に

「ファイル名 : IDMClientInstaller.msi」

「ファイル名 : FAVirChRDPInstaller.msi」が生成されます。

★注意 : フォルダ内には、「Program Files」フォルダーも生成されますが、展開時に必要なため、移動や削除はしないでください。

正常にインストールできなくなります。

「ファイル名 : IDMClientInstaller.msi」

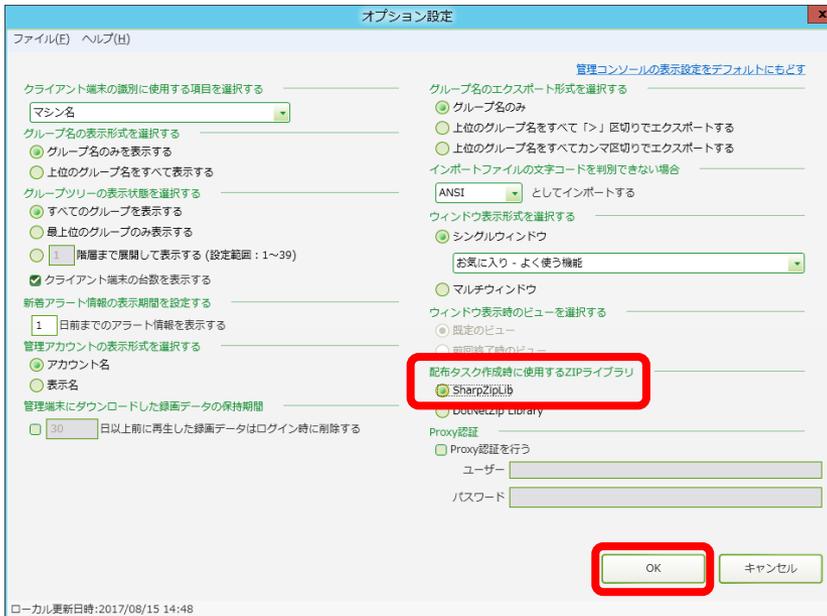
「ファイル名 : FAVirChRDPInstaller.msi」

も同様です。

3. 事前準備



手順⑫ : AssetView管理コンソールにログインし、「設定」タブ⇒「AssetView設定」⇒「オプション設定」をクリックをします。



手順⑬ : 右下「配布タスク作成時に使用するZIPライブラリ」を「SharpZipLib」選択し「OK」ボタンをクリックをします。

★注意 : デフォルトは「DotNetZip Library」です。必ず「SharpZipLib」に変更してからタスクを作成してください。正常に終了しない場合があります。

以上が事前準備の手順となります。

4. ドライバーとインストーラーの配布

認証デバイスのドライバーとクライアントのインストーラー配布手順を、以下に記します。



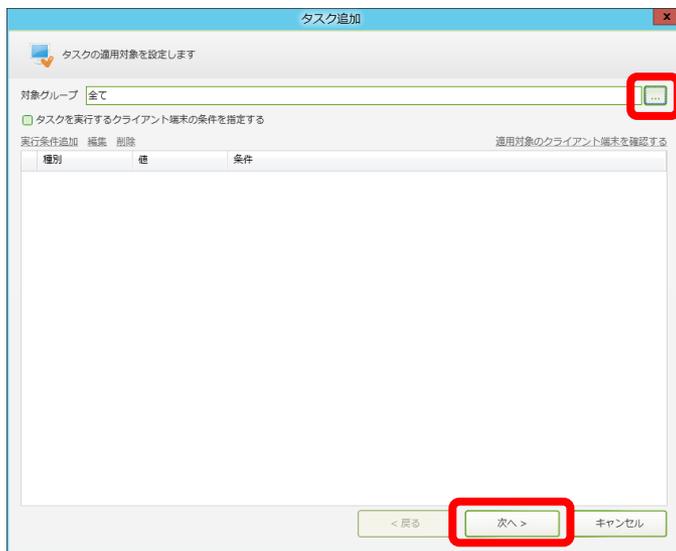
手順① : AssetView 管理コンソールにログインします。

手順② : 「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。



手順③ : 「タスク追加」をクリックします。

4. ドライバーとインストーラーの配布



手順④：「対象グループ」を選択します。
例では「全て」にて設定
「…」をクリックで変更可能

手順⑤：「次へ >」をクリックします。



手順⑥：任意の「タスク名」を入力します。
例では「EVEFA配布」にて設定

手順⑦：タスク種別に「ファイル配布」を選択します。

手順⑧：任意の「実行方法」を選択します。
例では「OSログオン時」にて設定

手順⑨：スケジュール設定に「タスクが成功するまで実行する」を選択します。

手順⑩：「次へ >」をクリックします。

4. ドライバーとインストーラーの配布



手順⑪：「フォルダを配布対象とする」を選択します。
例では事前準備にて用意したフォルダを指定

手順⑫：任意の「配布先」を選択します。
例では「直接指定 / c:¥」にて設定

手順⑬：「次へ >」をクリックします。

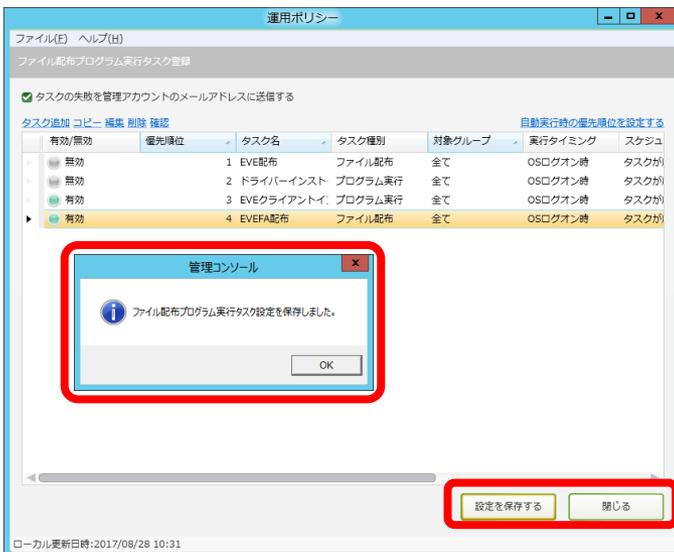


手順⑭：「次へ >」をクリックします。

4. ドライバーとインストーラーの配布



手順⑮：「完了」をクリックします。



手順⑯：「設定を保存する」をクリックします。

★注意：環境により前後しますが、保存完了には3分～10分程度を要します。

手順⑰：「閉じる」をクリックします。

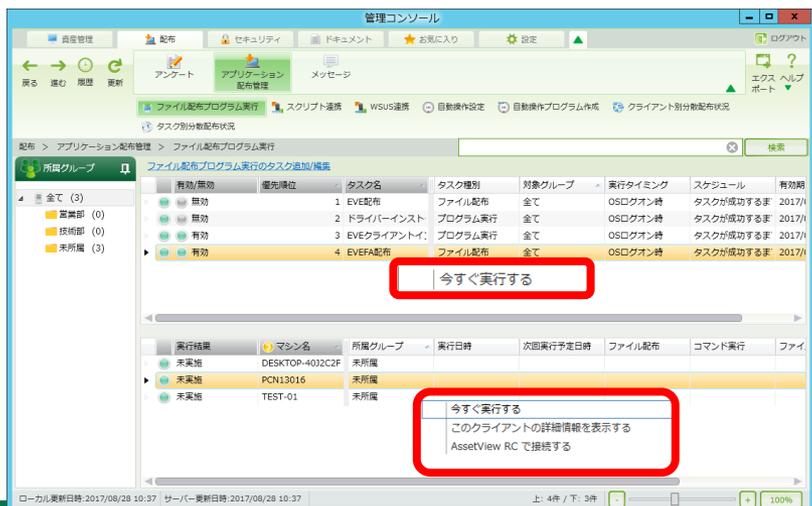
以上が配布の手順となります。

4. ドライバーとインストーラーの配布

AssetViewは作成したタスクの実行方法およびスケジュール設定にて実施されますが、直ちに実行したい場合は、管理コンソールよりタスクを実行することで実施可能です。以下に実行手順を記します。



手順①：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒右上の「更新」をクリックします。



手順②：実行したいタスクを選択し右クリック
⇒「今すぐ実行する」をクリックします。
例では「タスク名 / EVE配布」にて実行

端末ごとに実行したい場合は、下段より任意の端末を選択し右クリック⇒「今すぐ実行する」をクリックします。

以上が実行の手順となります。

5. ドライバーの導入

認証デバイスドライバーの導入手順を、以下に記します。



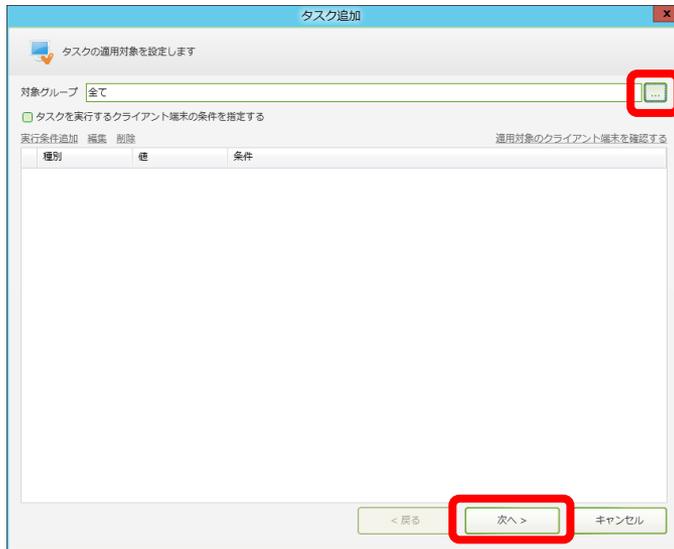
手順①：AssetView 管理コンソールにログインします。

手順②：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。



手順③：「タスク追加」をクリックします。

5. ドライバーの導入



手順④：「対象グループ」を選択します。
例では「全て」にて設定
「…」をクリックで変更可能

手順⑤：「次へ >」をクリックします。



手順⑥：任意の「タスク名」を入力します。
例では「ドライバーインストール3」にて設定

手順⑦：タスク種別に「プログラム実行」を選択します。

手順⑧：任意の「実行方法」を選択します。
例では「OSログオン時」にて設定

手順⑨：スケジュール設定に「タスクが成功するまで実行する」を選択します。

手順⑩：「次へ >」をクリックします。

5. ドライバーの導入

タスク追加

プログラム実行について設定します

実行コマンド

コマンド引数

ログオンユーザ権限を選択します

タスク成功時にOSのシャットダウン/再起動を行う
再起動

タスク成功と判定する条件を指定する
コマンド実行後、 分経過したら成功条件判定を開始する

成功条件追加 編集 削除

種別	値	条件
----	---	----

< 戻る キャンセル

手順⑪：任意の「実行コマンド」を選択します。

例では

「直接指定」

「c:\¥EVE FA配布¥WBFDDKSetupH_4_5_314_0.exe」にて設定

手順⑫：コマンド引数に「/s」を入力します。

「システム権限で実行する」を選択します。

★注意：「ログオンユーザー権限で実行する」を選択した場合、管理者権限に必要になりますので、ご注意ください。

手順⑬：「次へ >」をクリックします。

タスク追加

タスク終了時に表示するメッセージを設定します

タスク終了時にメッセージを表示する

10 秒表示したら、自動的にメッセージを閉じる

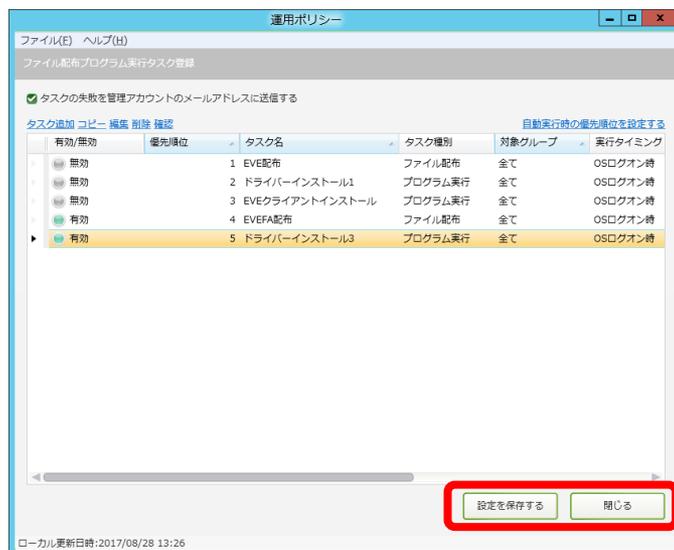
< 戻る キャンセル

手順⑭：「次へ >」をクリックします。

5. ドライバーの導入



手順⑮ : 「完了」をクリックします。



手順⑯ : 「設定を保存する」をクリックします。

手順⑰ : 「閉じる」をクリックします。

以上が認証デバイスドライバーのタスク作成手順となります。
作成したスケジュール設定に沿って実行されます。

5. ドライバーの導入

AssetViewは作成したタスクの実行方法およびスケジュール設定にて実施されますが、直ちに実行したい場合は、管理コンソールよりタスクを実行することで実施可能です。以下に実行手順を記します。



手順①：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒右上の「更新」をクリックします。



手順②：実行したいタスクを選択し右クリック
⇒「今すぐ実行する」をクリックします。
例では「タスク名 / ドライバーインストール3」にて実行

端末ごとに実行したい場合は、下段より任意の端末を選択し右クリック⇒「今すぐ実行する」をクリックします。

以上がタスクの今すぐ実行手順となります。

6. クライアントの導入

クライアントの導入手順(EVE FA)を、以下に記します。



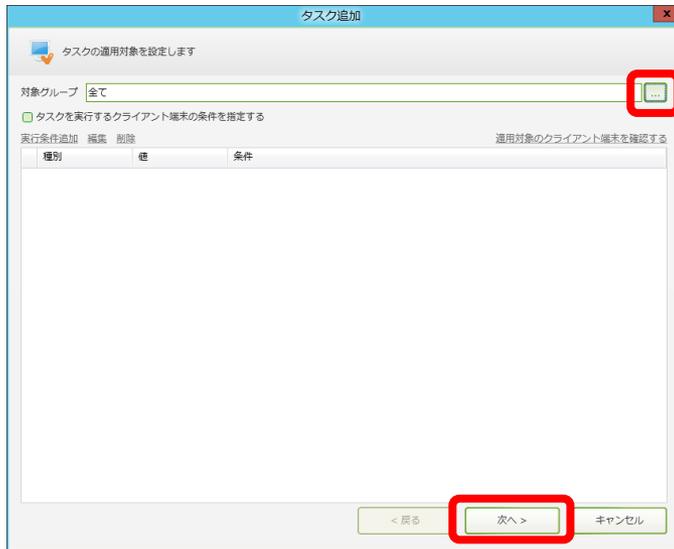
手順① : AssetView 管理コンソールにログインします。

手順② : 「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。



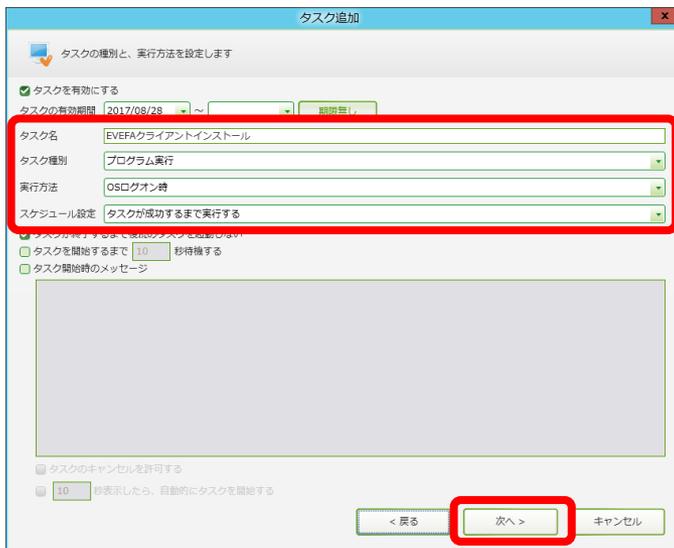
手順③ : 「タスク追加」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順④：「対象グループ」を選択します。
例では「全て」にて設定
「…」をクリックで変更可能

手順⑤：「次へ >」をクリックします。



手順⑥：任意の「タスク名」を入力します。
例では「EVEFAクライアントインストール」にて設定

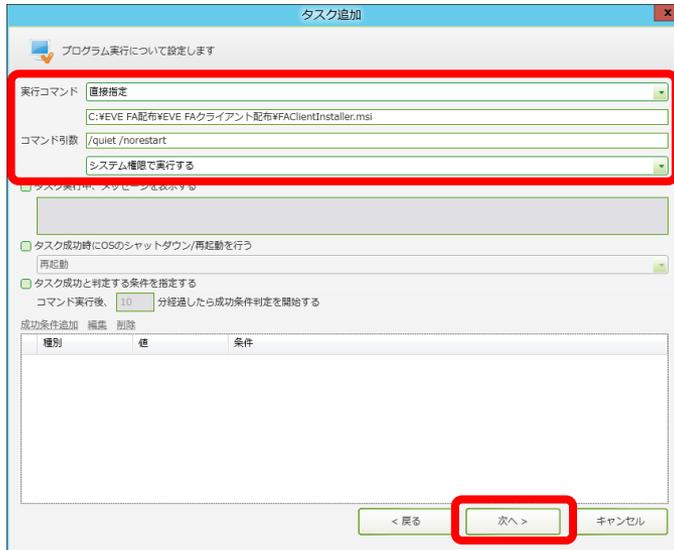
手順⑦：タスク種別に「プログラム実行」を選択します。

手順⑧：任意の「実行方法」を選択します。
例では「OSログオン時」にて設定

手順⑨：スケジュール設定に「タスクが成功するまで実行する」を選択します。

手順⑩：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順⑪：任意の「実行コマンド」を選択します。
例では
「直接指定」
「c:\EVE FA配布\EVE FAクライアント配布\FAClientInstaller.msi」にて設定

手順⑫：コマンド引数に「/quiet /norestart」を入力します。
「システム権限で実行する」を選択します。

- ★参考：「/quiet」はサイレントインストールを意味します。
- ★参考：「/norestart」は再起動をしないを意味します。
必ず「/norestart」は入力してください。
入力しない場合、強制再起動が実施されます。ご注意ください。
- ★注意：「ログオンユーザー権限で実行する」を選択した場合、
管理者権限に必要になりますので、ご注意ください。

手順⑬：「次へ >」をクリックします。

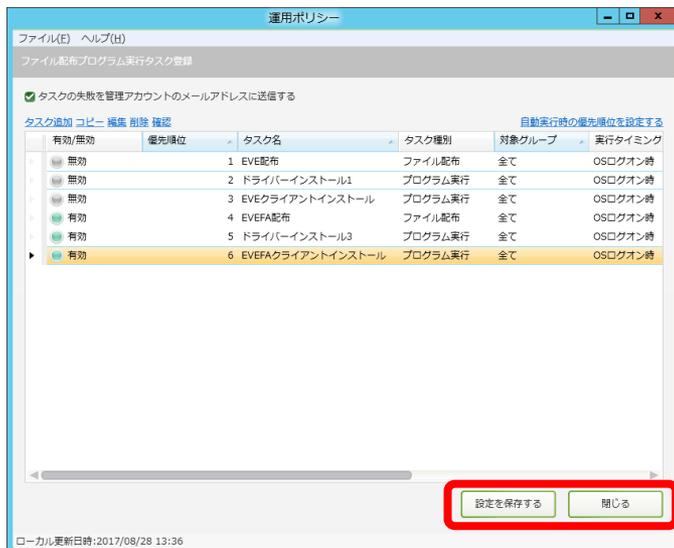


手順⑭：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順⑮ : 「完了」をクリックします。



手順⑯ : 「設定を保存する」をクリックします。

手順⑰ : 「閉じる」をクリックします。

以上がクライアント導入(EVE FA)のタスク作成手順となります。
作成したスケジュール設定に沿って実行されます。

6. クライアントの導入

クライアントの導入手順(EVE IDM)を、以下に記します。



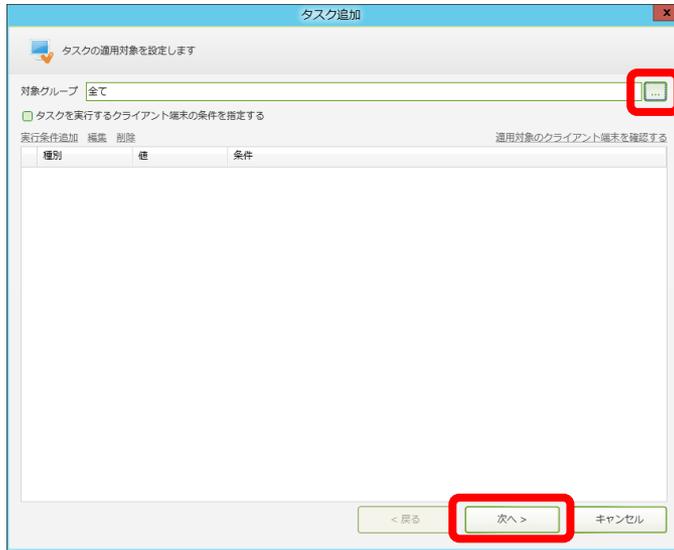
手順① : AssetView 管理コンソールにログインします。

手順② : 「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。



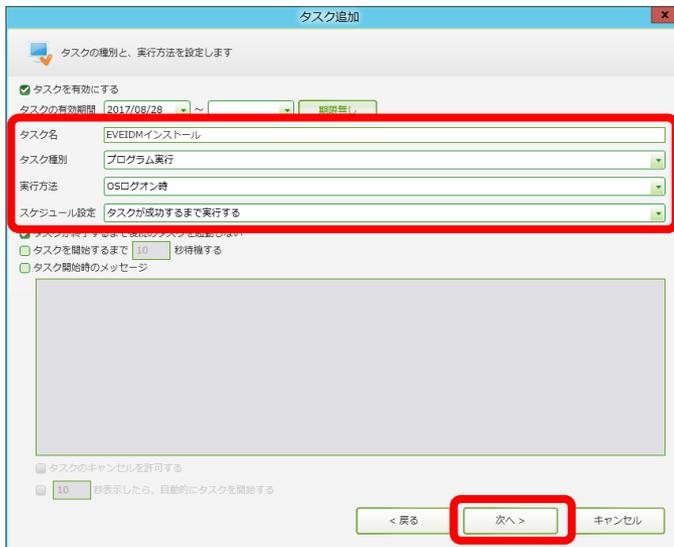
手順③ : 「タスク追加」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順④：「対象グループ」を選択します。
例では「全て」にて設定
「…」をクリックで変更可能

手順⑤：「次へ >」をクリックします。



手順⑥：任意の「タスク名」を入力します。
例では「EVEIDMインストール」にて設定

手順⑦：タスク種別に「プログラム実行」を選択します。

手順⑧：任意の「実行方法」を選択します。
例では「OSログオン時」にて設定

手順⑨：スケジュール設定に「タスクが成功するまで実行する」を選択します。

手順⑩：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順⑪：任意の「実行コマンド」を選択します。
例では
「直接指定」
「c:\EVE FA配布\EVE IDM配布\IDMClientInstaller.msi」にて設定

手順⑫：コマンド引数に「/quiet /norestart」を入力します。
「システム権限で実行する」を選択します。

- ★参考：「/quiet」はサイレントインストールを意味します。
- ★参考：「/norestart」は再起動をしないを意味します。
必ず「/norestart」は入力してください。
入力しない場合、強制再起動が実施されます。ご注意ください。
- ★注意：「ログオンユーザー権限で実行する」を選択した場合、
管理者権限に必要になりますので、ご注意ください。

手順⑬：「次へ >」をクリックします。

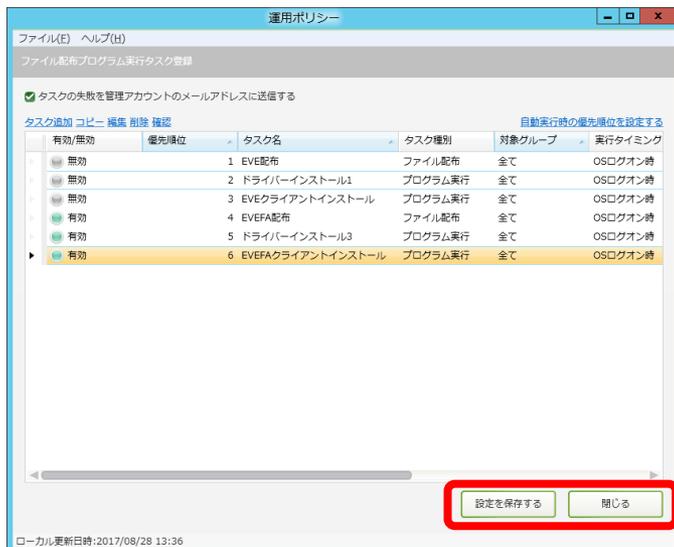


手順⑭：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順⑮ : 「完了」をクリックします。



手順⑯ : 「設定を保存する」をクリックします。

手順⑰ : 「閉じる」をクリックします。

以上がクライアント導入(EVE IDM)のタスク作成手順となります。
作成したスケジュール設定に沿って実行されます。

6. クライアントの導入

クライアントの導入手順(EVE RDP)を、以下に記します。



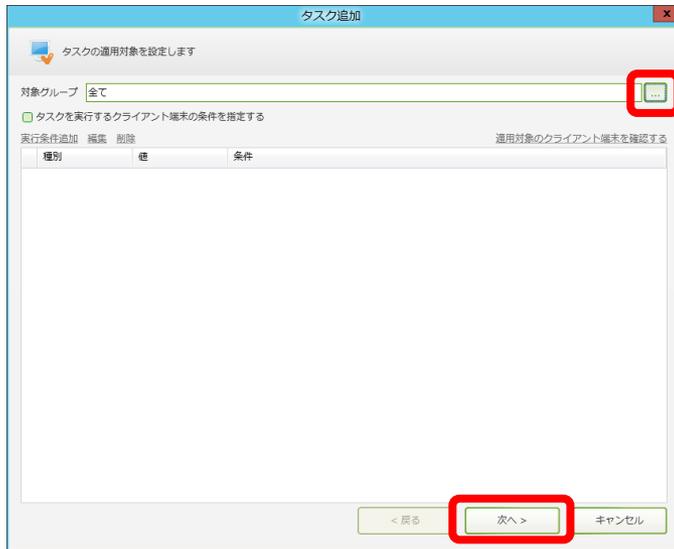
手順① : AssetView 管理コンソールにログインします。

手順② : 「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。



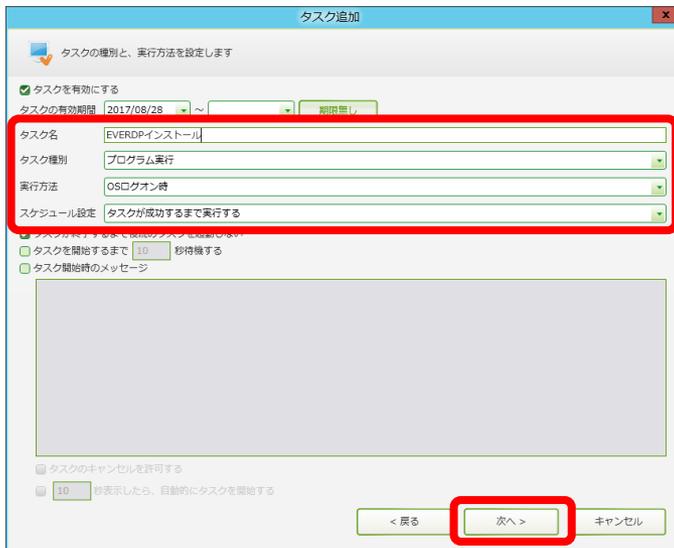
手順③ : 「タスク追加」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順④：「対象グループ」を選択します。
例では「全て」にて設定
「…」をクリックで変更可能

手順⑤：「次へ >」をクリックします。



手順⑥：任意の「タスク名」を入力します。
例では「EVERDPインストール」にて設定

手順⑦：タスク種別に「プログラム実行」を選択します。

手順⑧：任意の「実行方法」を選択します。
例では「OSログオン時」にて設定

手順⑨：スケジュール設定に「タスクが成功するまで実行する」を選択します。

手順⑩：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入

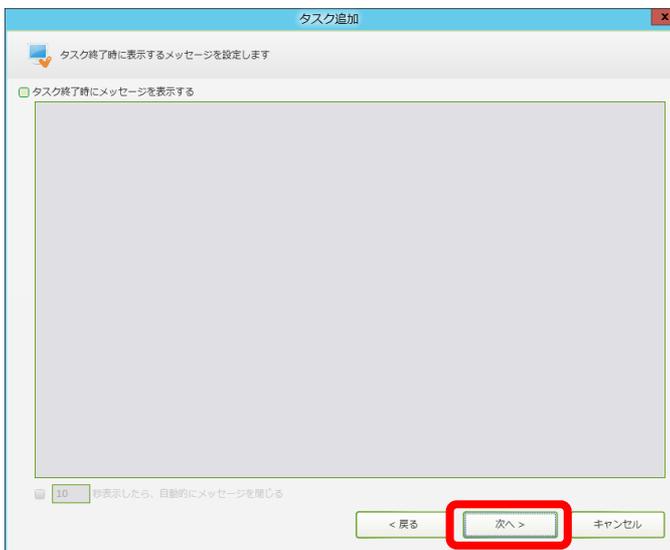


手順⑪：任意の「実行コマンド」を選択します。
例では
「直接指定」
「c:¥EVE FA配布¥EVE RDP配布¥
FAVirChRDPInstaller.msi」にて設定

手順⑫：コマンド引数に「/quiet /norestart」を入力します。
「システム権限で実行する」を選択します。

- ★参考：「/quiet」はサイレントインストールを意味します。
- ★参考：「/norestart」は再起動をしないを意味します。
必ず「/norestart」は入力してください。
入力しない場合、強制再起動が実施されます。ご注意ください。
- ★注意：「ログオンユーザー権限で実行する」を選択した場合、
管理者権限に必要になりますので、ご注意ください。

手順⑬：「次へ >」をクリックします。

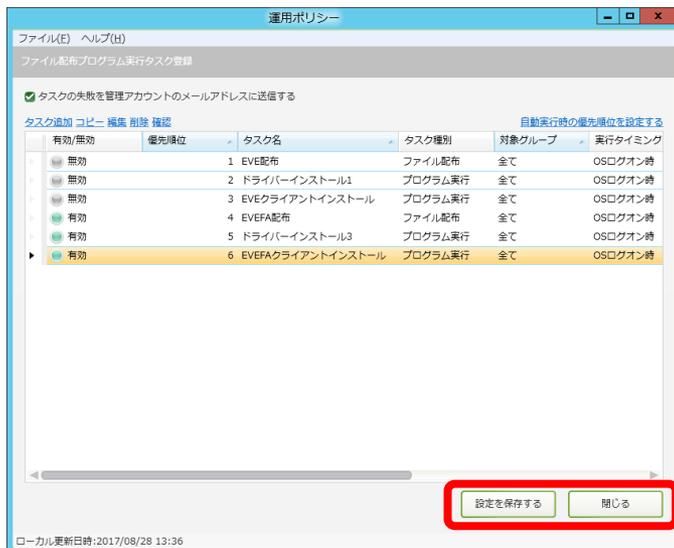


手順⑭：「次へ >」をクリックします。

6. クライアントの導入



手順⑮ : 「完了」をクリックします。



手順⑯ : 「設定を保存する」をクリックします。

手順⑰ : 「閉じる」をクリックします。

以上がクライアント導入(EVE RDP)のタスク作成手順となります。
作成したスケジュール設定に沿って実行されます。

6. クライアントの導入

AssetViewは作成したタスクの実行方法およびスケジュール設定にて実施されますが、直ちに実行したい場合は、管理コンソールよりタスクを実行することで実施可能です。以下に実行手順を記します。



手順①：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒右上の「更新」をクリックします。



手順②：実行したいタスクを選択し右クリック
⇒「今すぐ実行する」をクリックします。
例では「タスク名 / EVEFAクライアントインストール」にて実行

端末ごとに実行したい場合は、下段より任意の端末を選択し右クリック⇒「今すぐ実行する」をクリックします。

以上がタスクの今すぐ実行手順となります。

7. 確認方法

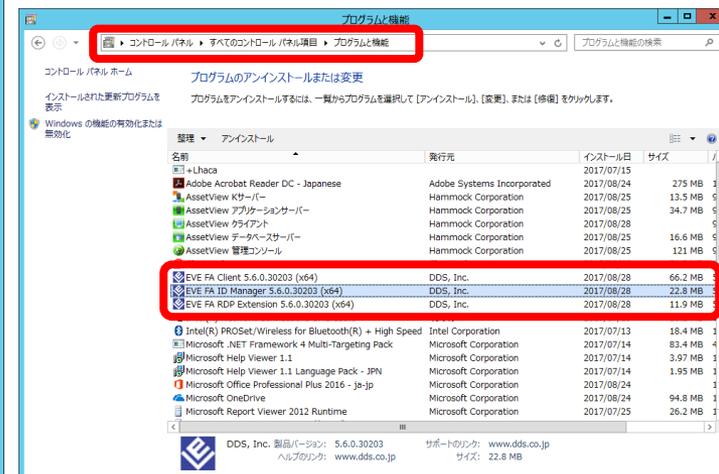
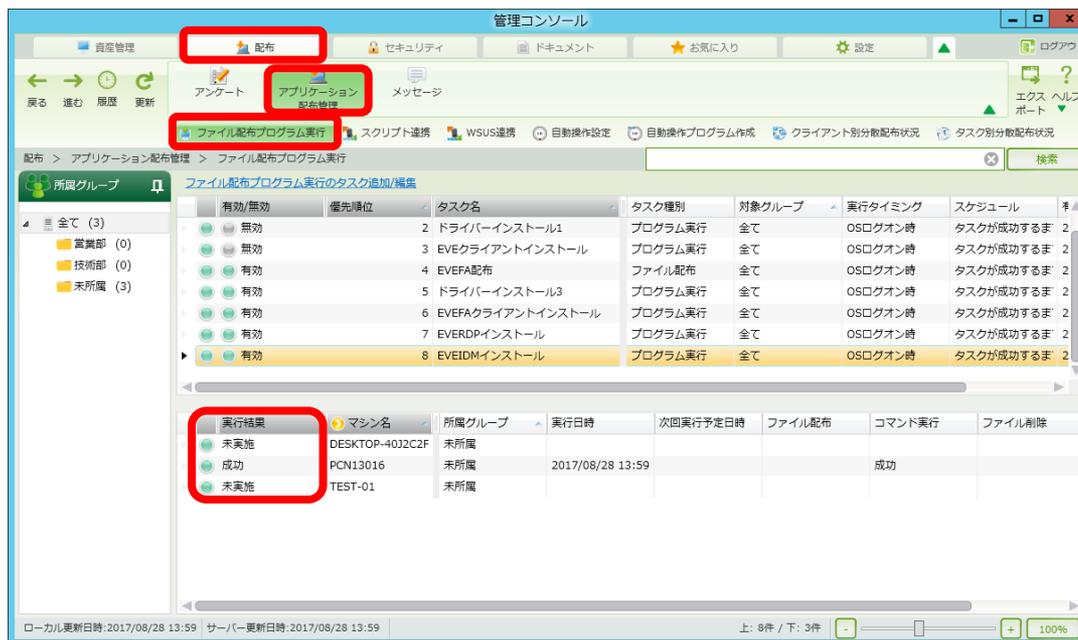
インストール状況の確認方法を以下に記します。

手順①：AssetView 管理コンソールにログインします。

手順②：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」⇒「ファイル配布プログラム実行」をクリックします。

手順③：状況を確認したいタスクを上段のリストより選択します。

手順④：下段に実行結果が端末ごとに表示されます。



以上が確認方法の手順となります。

その他、「コントロールパネル」⇒「プログラムと機能」より確認することも可能です。

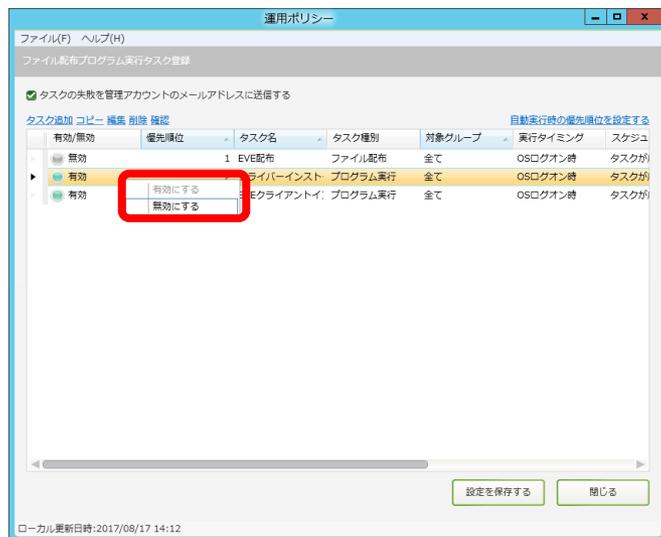
補足資料

実行が不要になったタスクは、無効化し実行しないようにすることが可能です。以下に実行手順を記します。



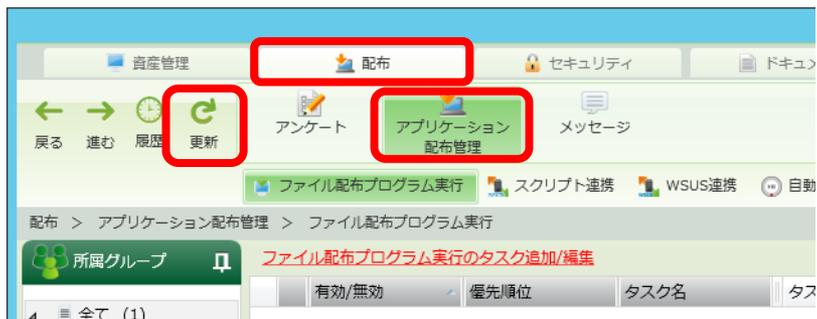
手順①：AssetView 管理コンソールにログインします。

手順②：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒「ファイル配布プログラム実行」
⇒「ファイル配信プログラム実行のタスク追加/編集」
をクリックします。

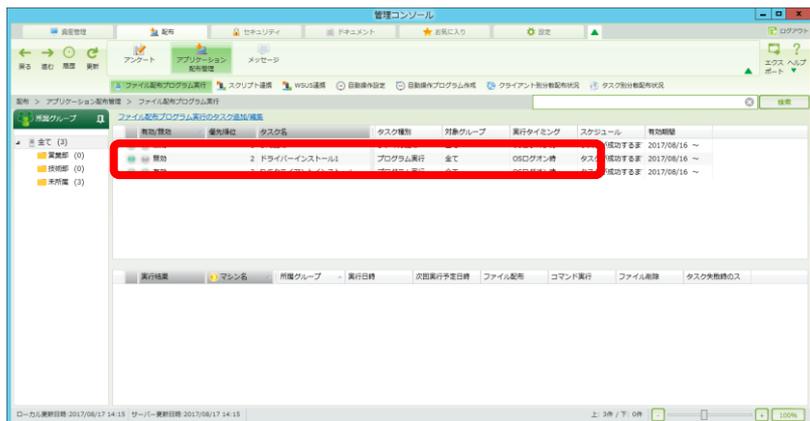


手順③：無効化したいタスクを選択し右クリック
⇒「無効化する」をクリックします。
例では「タスク名 / ドライバーインストール1」
にて実行

補足資料（無効化手順）



手順④：「配布」タブ⇒「アプリケーション配布管理」
⇒右上の「更新」をクリックします。



手順⑤：無効化されたことを確認します。

以上が無効化の手順となります。

機能もサービスも、オーダーメイド感覚。

IT統合管理ソフトウェア

AssetView[®]

アセットビュー